

それぞれの特別な「街の風景」が響き合う

アール・ブリュット ゼン&ナウ Vol.2

「Echo こだま返る風景」が明日開幕！

会期：2023年1月21日（土）～4月9日（日）

会場：東京都渋谷公園通りギャラリー 展示室 1、2



展覧会「アール・ブリュット ゼン&ナウ Vol.2『Echo こだま返る風景』」会場風景 撮影：佐藤 基

いよいよ明日、1月21日（土）より東京都渋谷公園通りギャラリーにて、2023年冬の企画展「アール・ブリュットゼン&ナウ Vol.2『Echo こだま返る風景』」が開幕いたします。

「アール・ブリュット ゼン&ナウ」は国内外のアール・ブリュット¹の動向において、長く活躍を続ける作家と、近年発表の場を広げつつある作家を、さまざまな角度から紹介する展覧会シリーズです。2回目の開催となる本展では、建物や家が立ちならぶ街の風景を、独自のまなざしで再構築する作家たちを紹介します。

作家それぞれがまなざしてきた風景は、現実と想像の、近景と遠景の、自己と他者の、こちらとあちらとのあいだを反響し合うこだまのように、人知れず広がりつづけています。本展が、鑑賞者それぞれとこだまし、ときに騒めき、ときに静かに共鳴する特別な風景との出会いとなれば幸いです。

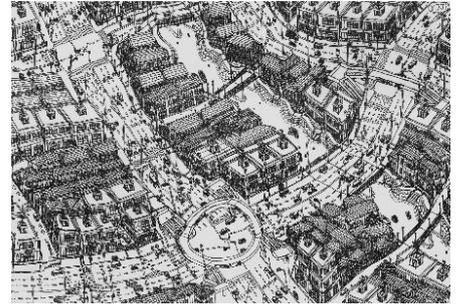
¹ アール・ブリュット (Art Brut) は、元々、フランスの芸術家ジャン・デュビュッフェによって提唱されたことばです。当ギャラリーでは、広く、専門的な美術の教育を受けていない人などによる、独自の発想や表現方法が注目されるアートとご紹介しています。

本展覧会の見どころ

①様々な視点によって表現された街の風景を展覧

上空から俯瞰するような構図や天地のない描き方、奇抜な色彩の建物群。本展で紹介する作家たちは、かれら自身が実際に見た景色やその記憶の断片から、または雑誌やテレビ、インターネットから選びとった画像を組み合わせ、それぞれにユニークな表象をつくり出します。

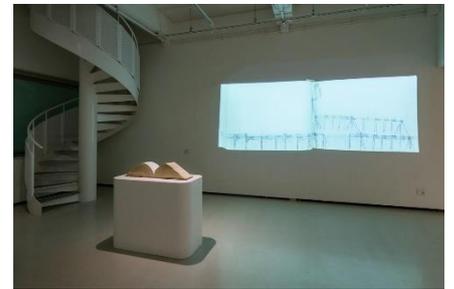
街の風景という馴染み深いモチーフを6名の作家の異なる表現方法によって、比較しながらご鑑賞いただけます。



辻勇二《心でのぞいた僕の街》2019年 作家蔵
提供：障害福祉サービス事業所 明日香

②ドローイングブックを一枚一枚記録した映像の上映

無数の電柱とそれらをつなぐ電線が描きこまれたドローイングブック(磯野貴之)や、建物が密度のある描きこみによって繰り返し描かれたドローイングブック(古久保憲満)を展示します。これらの作品は展示中、開いてみることはできないので、全ページを記録した映像の上映を行い、映像を通して連続する作品にどのような景色が広がっているのか、をお見せします。



撮影：佐藤 基

③渋谷の街並みを感じながらの作品鑑賞

本展は外光の入る展示構成を組んでいます。外に見える街並みや喧騒、匂いや空気感など、展示室と外の世界のつながりを感じながらご鑑賞いただくことができます。帰り道の景色が違って見えるかもしれません。



撮影：佐藤 基

④資料スペースでアール・ブリュットに関する知識を深める

会期中、ギャラリー内の交流スペースがアール・ブリュットに関連する資料スペースとして開放されます。

資料スペースでは、出展作家達の制作や展示をサポートする施設の紹介パネルを通して制作の背景を知ることができるほか、「アール・ブリュット」に関連する書籍を閲覧することができます。



撮影：佐藤 基



関連イベント

出展作家を招いたイベントやギャラリートークを予定しております。

詳細は当ギャラリーWebサイト (<https://inclusion-art.jp>) にて随時お知らせいたします。

① 横溝さやかの紙芝居公演「ピ・ヨンジュとオレ三世の中華料理大対決2」

出展作家の横溝さやかによる紙芝居公演。なお当日のイベントの様子は、会期中に展覧会会場にてモニター上映展示を行う予定です。

日時：1月21日（土）14:00～15:00

会場：東京都渋谷公園通りギャラリー 交流スペース

定員：15名程度 ※状況により変更する可能性があります

参加方法：当日の11時より、会場受付にて整理券を配布

協力：嬉々!!CREATIVE

② ギャラリートーク

当ギャラリーの学芸員が作品解説を行います。3月11日開催回のみ手話通訳が付きます。

日時：①2月11日（土・祝）14:00～14:30

②3月11日（土）14:00～14:30 ※手話通訳付き

会場：東京都渋谷公園通りギャラリー 展示室1、2

定員：各回10名程度

参加方法：先着順、事前申込不要

出展作家プロフィール



磯野貴之《でんちゅうでんせん》2012-2013年 作家蔵
撮影・提供：特定非営利活動法人障害者アート支援工房 COCOPELLI

磯野貴之 (ISONO Takayuki) 1997-

富山県生まれ。分厚く重量感のあるドローイングブックには、延べ4万2千本の電柱とそれらをつなぐ無数の電線が描きこまれている。軽やかな描線と余白の対比によって静謐な世界が広がっている。主な展示に、「日本のアール・ブリュット KOMOREBI 展」（フランス国立現代芸術センター リュー・ユニック [フランス、ナント]、2017年）などがある。



古久保憲満《無題》2001-2007年頃 作家蔵
撮影：大西鶴夫 提供：ボードレス・アートミュージアム NO-MA

古久保憲満 (KOKUBO Norimitsu) 1995-

滋賀県生まれ。小学生の頃より、近未来を思わせる都市風景を緻密に描きつづけている。記憶やインターネット上に氾濫するイメージを再編成し、密度のある描きこみを繰り返す。そこには、作者が構築した唯一無二の世界がある。「人間の才能 生みだすことと生きること」（滋賀県立美術館 [滋賀]、2022年）のほか、国内外の美術館での展示歴と収蔵作品がある。



後藤拓也《いえ》2013-2021年 風舎とみたか蔵
撮影・提供：風舎とみたか

後藤拓也 (GOTO Takuya) 1987-

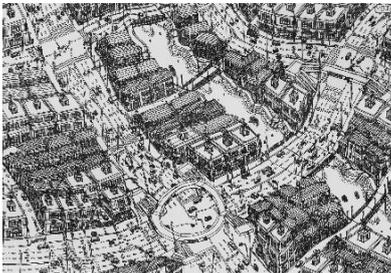
宮崎県生まれ。日向市にある「風舎とみたか」にて制作を行う。2013年頃から家を模したカラフルな立体作品を制作している。骨格から外壁、屋根にいたるまで紙を独自の技法で組み上げ、有機的でしなやかな建築物をつくり出す。主な展示に、「宮崎アーティストファイル『ギフト展』」（高鍋町美術館 [宮崎]、2021年）などがある。



佐藤慶吾《ホテル》1998-2005年頃
NPO 法人グループ彩 生活工房蔵
撮影・提供：NPO 法人グループ彩 生活工房

佐藤慶吾 (SATO Keigo) 1983-

千葉県生まれ。成田市にある「生活工房」にて制作を行う。カラーペンを使い、一視点の構図によって、細長い建物群を反復して描いている。単色やモザイク、グリッドといったさまざまな描き方を駆使し、ここではない遠く離れた場所を思わせる幻想的な眺めを生みだしている。主な展示に、「いえとまちのかたち」展（もうひとつの美術館 [栃木]、2014年）などがある。



辻勇二《心でのぞいた僕の街》2019年 作家蔵
提供：障害福祉サービス事業所 明日香

辻勇二 (TSUJI Yuji) 1977-

愛知県生まれ。どこか既視感のある架空の街なみを黒い水性ペンのみで緻密に描く。上空から俯瞰する構図と迷いのない筆跡によって、屋根瓦や道路、線路などが立体的に浮き立つ。その景色は、独特なゆらぎと躍動感に満ちている。出展歴として、「アール・ブリュット ジャポネ展」（アル・サン・ピエール [フランス、パリ]、2010-11年）など国内外で多数ある。



横溝さやか《SHIBUYA2020》2017年
嬉々!! CREATIVE 蔵 提供：嬉々!! CREATIVE

横溝さやか (YOKOMIZO Sayaka) 1986-

神奈川県生まれ。平塚市にある「嬉々!! CREATIVE」に所属している。人間や動物、キャラクターといったさまざまな登場人物が街中に闊歩する祝祭的で賑やかな風景を描く。創作した絵と物語をいくつもの声色によって演じる紙芝居の公演も行う。主な展示に、「ここから2-障害・感覚・共生を考える8日間」（国立新美術館 [東京]、2018年）などがある。

お問合せ/お申込み

東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当 （（公財）東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-19-8 Tel：03-5422-3151 E-mail：inclusion@mot-art.jp



展覧会概要

「アール・ブリュット ゼン&ナウ」は、国内外のアール・ブリュットの動向において、長く活躍を続ける作家と、近年発表の場を広げつつある作家を、さまざまな角度から紹介する展覧会シリーズです。2回目にあたる「Echo こだま返る風景」では、建物や家が立ちならぶ街の風景を、独自のまなざしで再構築する作家たちを紹介します。

展覧会名：アール・ブリュット ゼン&ナウ Vol.2 Echo こだま返る風景

会 期：2023年1月21日（土）～4月9日（日）

開館時間：11：00～19：00

休 館 日：月曜日

会 場：東京都渋谷公園通りギャラリー 展示室1、2

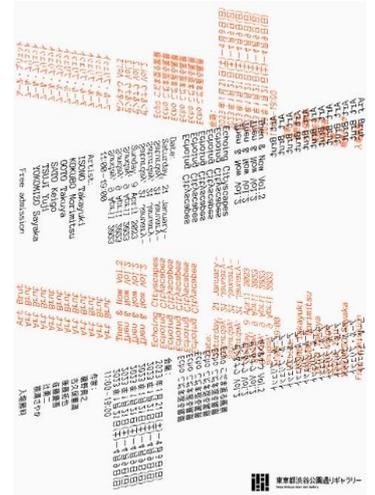
入 場 料：無 料

出展作家：磯野貴之、古久保憲満、後藤拓也、佐藤慶吾、辻勇二、横溝さやか

主 催：（公財）東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 東京都渋谷公園通りギャラリー

展覧会ウェブサイト：<https://inclusion-art.jp/s/kodamakaerufuukei>

*開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。



■ 東京都渋谷公園通りギャラリーとは

2020年2月にグランドオープンした当ギャラリーは、アール・ブリュット等の振興拠点として、アートを通して、ダイバーシティの理解促進や包容力のある共生社会の実現に寄与するため、アール・ブリュット等をはじめとするさまざまな作品の展示や、新設した交流スペースを活用した対話的で創造的な交流プログラムを展開しております。



お問合せ/お申込み

東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当 （（公財）東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-19-8 Tel：03-5422-3151 E-mail：inclusion@mot-art.jp



[取材・画像使用申込書]

東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当 行

Fax: 03-3464-5241 E-mail: inclusion@mot-art.jp

取材および広報用画像について

本展覧会の取材を希望される場合は、本紙に必要事項をご記入の上、FAXまたはEメールにてお申し込みください。
また、本展覧会の広報用素材として **9点**の画像をご用意しております。希望されます場合は、希望画像をご記入の上、お申し込みください。

取材希望

画像使用希望

取材希望日時：

使用希望画像：

貴社名：

貴媒体名：

種別： TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー ネット媒体 携帯媒体 その他
○印をお付けください

発行・放送予定日：

ご担当者名：

Eメールアドレス：

ご住所： (〒)

お電話番号：

F A X：

その他：

なお、取材および写真使用に際しましては、以下のことをお願いしております。

- ① キャプションは、作家名、作品名、制作年、コピーライト等を必ず表記してください。
- ② 作品画像のトリミング、文字載せはご遠慮ください。
- ③ 本展を紹介いただく場合には、恐れ入りますが掲載誌(紙)、DVD、CD等をご提供ください。

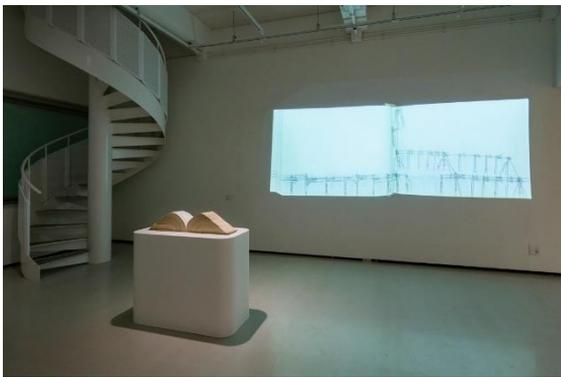
広報用画像一覧（出展作品とは異なる場合があります）



① 「Echo こだま返る風景」会場風景 撮影：佐藤 基



② 「Echo こだま返る風景」会場風景 撮影：佐藤 基



③ 「Echo こだま返る風景」会場風景 撮影：佐藤 基



④ 「Echo こだま返る風景」会場風景 撮影：佐藤 基



⑤ 「Echo こだま返る風景」会場風景 撮影：佐藤 基



⑥ 「Echo こだま返る風景」会場風景 撮影：佐藤 基



⑦ 磯野貴之《でんちゅうでんせん》2012-2013年
作家蔵
撮影・提供：特定非営利活動法人障害者アート
支援工房 COCOPELLI



⑧ 古久保憲満《無題》2001-2007年頃 作家蔵
撮影：大西暢夫
提供：ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

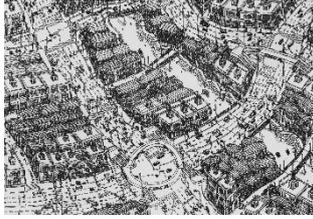


⑨ 後藤拓也《いえ》2013-2021年 風舎とみ
たか蔵 撮影・提供：風舎とみたか



⑩

佐藤慶吾《ホテル》1998-2005年頃
NPO法人グループ彩 生活工房蔵
撮影・提供：NPO法人グループ彩 生活工房



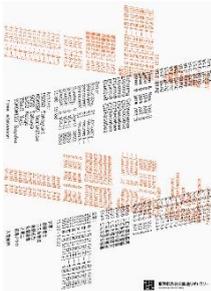
⑪

辻勇二《心でのぞいた僕の街》2019年
作家蔵
提供：障害福祉サービス事業所 明日香



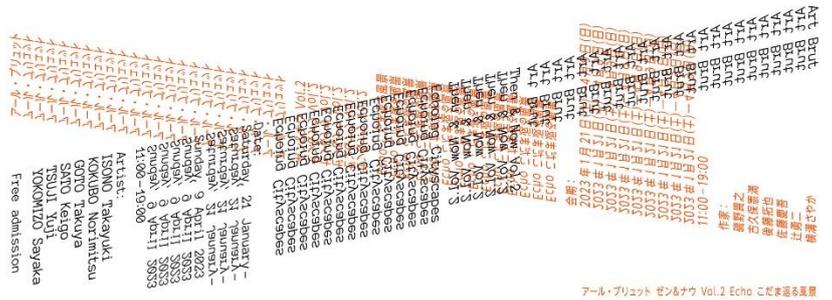
⑫

横溝さやか《SHIBUYA2020》2017年
嬉々!! CREATIVE 蔵
提供：嬉々!! CREATIVE



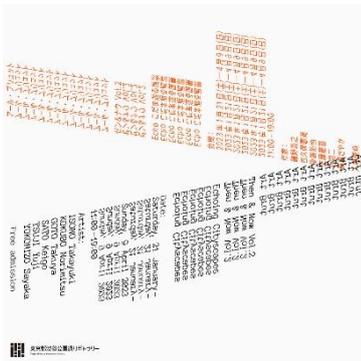
⑬

チラシ画像「アール・ブリュット ゼン
& ナウ Vol.2 Echo こだま返る風景」



⑭

Web バナー「アール・ブリュット ゼン&ナウ Vol.2 Echo こだま返る風景」



⑮

Web バナー（正方形）「アール・ブリュット ゼン&ナウ Vol.2
Echo こだま返る風景」

お問合せ／お申込み

東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当

（（公財）東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）

Tel : 03-5422-3151

Fax : 03-3464-5241

E-mail : inclusion@mot-art.jp